

V. その他（加盟団体）

24. 外科関連学会協議会

座長 田 林 暁 一

平成 25 年 2 月 8 日に開催した。

1. 前年度に本会の外科医労働環境改善委員会と共同で、「平成 24 年度診療報酬改定結果に対する外科医処遇に関するアンケート調査」と「平成 24 年度診療報酬改定結果に対する外科医の労働環境改善反映方法等実態調査アンケート調査」を実施し（日本麻酔科学会除く）、その結果をまとめて、第 113 回定期学術集会中にプレスリリースを行った。
2. 厚生労働副大臣と面会し、「特定の能力を有する看護師に関する法制化」を求める要望書を提出した。
3. 「症例報告を含む医学論文及び学会研究会発表における患者プライバシー保護に関する指針」に、日本女性医学学会と日本頭頸部癌学会が新たに賛同した。

25. 日本医学会

評議員 國 土 典 宏

平成 25 年 12 月 4 日に臨時評議員会、平成 26 年 2 月 19 日に第 81 回定例評議員会が開催され、懸案の日本医学会の法人化について審議された。その結果、従来の方針とは異なり、日本医師会内に日本医学会を残したままで、平成 26 年 4 月に「一般社団法人日本医学会連合」という別の組織が設立されることとなった。本会は日本内科学会などと共に「一般社団法人日本医学会連合」の設立時社員となる。

なお、現行の日本医学会としての平成 26 年度事業計画、および新規加盟学会の件も協議され、加盟学会については日本肺癌学会、日本胃癌学会、日本造血細胞移植学会、および日本ペインクリニック学会が認められ、合計で 122 学会となった。

26. 移植関係学会合同委員会

代表委員 國 土 典 宏

第 31 回合同委員会における議事要旨は以下の通りである。

第 31 回議事要旨

日 時：2013 年 11 月 20 日（水）書面開催

議事

以下のとおり臓器移植実施施設の認定・取り下げが決定した。

- ・ 肺移植 認定：千葉大学医学部附属病院
- ・ 肝臓移植 認定：千葉大学医学部附属病院、東京女子医科大学病院、愛媛大学医学部附属病院
取り下げ：新潟大学医歯学総合病院
- ・ 小児心臓移植 認定：東京女子医科大学病院
- ・ 膵臓移植 取り下げ：奈良県立医科大学病院

・小腸移植 取り下げ：新潟大学医歯学総合病院

27. 臓器移植関連学会協議会

代表委員 上 本 伸 二

第 18 回協議会における議事要旨は以下の通りである。

第 18 回議事要旨

日時：2013 年 3 月 9 日（土）15：00～17：00

場所：ベルサール八重洲 Room2+3

議事

下記について検討した。

1. 新規に 4 学会/団体が加入して 47（36 学会+7 研究会+3 団体+1 協議会）の加盟となった。
（日本移植・再生医療看護学会，日本臨床救急医学会，日本肺および心肺移植研究会，日本腎臓財団）
2. 「“円滑な脳死下臓器提供に向けての WG” からの提言」を協議した結果，厚生労働省に提言を行うことが決定した。
3. 「“通常の医療行為としての脳死判定に関わる診療報酬についての WG”」から進捗状況などの報告がなされた。
4. 日本臓器移植ネットワークより，事務所の移転と臓器提供数の推移や脳死下臓器提供の所要時間，臓器移植希望登録者数等について報告がなされた。
5. 今後の行動指針として，次回協議会で「移植施設の負担の軽減について検討を行う WG」と「病院スタッフの養成について検討を行う WG」の設置を検討することとした。

28. 公益財団法人日本医療機能評価機構

評価委員 杉 原 健 一

国民の健康と福祉の向上に寄与することを目的とし，中立的・科学的な第三者機関として医療の質の向上と信頼できる医療の確保に関する事業を行う公益財団法人である。

毎月開催されている病院機能評価事業の評価委員会に参加をしている。審査は基本的な病院の構成，機能などについてサーベイヤーが調査した資料に基づき審査し，認定証の発行を検討している。

医療法の改正により，広告の規制緩和が承認され日本医療評価機構の認定書を取得したことを広告できるようになっている。

現在，病院総数 8,558 施設のうち認定書が発行されたのは 2,353 施設（27.5%）である。（平成 26 年 1 月 9 日現在）

医療事故情報収集等事業 第 35 回報告書（平成 25 年 7 月～9 月）を公表した。

本年 1 月 15 日付にて医療安全情報 No. 86 を公表した。

公益財団法人日本医療機能評価機構（<http://jcqhc.or.jp/>）

29. 学会認定・臨床輸血看護師制度協議会

代表委員 矢 永 勝 彦

臨床輸血に精通し、安全な輸血に寄与できる看護師の育成を目的とし、日本輸血細胞治療学会が主体となり、日本血液学会、日本麻酔科学会、日本産科婦人科学会、ならびに日本外科学会（2009年12月より参加）が協力し、日本看護協会が推薦団体となる形で、2009年2月1日に学会認定・臨床輸血看護師制度が設立された。

- 第1回資格試験 埼玉医科大学総合医療センター 2010年12月19日（日）
申請者 136 名，受験者 134 名，筆記試験合格者 133 名，病院研修を経て，最終合格者 133 名
- 第2回資格試験 大阪医科大学 2011年11月6日（日）
申請者 157 名，受験者 155 名，筆記試験合格者 154 名，病院研修を経て，最終合格者 153 名
- 第3回資格試験 東京医科歯科大学 2012年10月28日（日）
申請者 170 名，受験者 163 名，筆記試験合格者 160 名，病院研修を経て，最終合格者 159 名（合格率 93.5%）
- 第4回資格試験 京都大学 2013年11月3日（日）
申請者 182（+ 再申請 5）名，受験者 181（+ 再受験 3）名，筆記試験合格者 178 名，病院研修を経て最終合格者を決定予定（3月）
- 第5回資格試験（予定）
試験日予定：2014年11月8日（土），9日（日）
試験会場予定：大宮ソニックシティ
申請書類受付期間：2014年6月2日（月）～7月31日（木）（予定）
5月下旬に日本輸血・細胞治療学会ホームページへ掲載予定